

企画名	船上講座『手賀沼の今と昔』 プラス 杉村楚人冠記念館見学
実施団体	団体名 流山市立博物館友の会 問合せ先 小島 隆 TEL: 04-7146-7203 Email: tony.kojima@fg7.so-net.ne.jp ホームページ: http://hakubutukan-tomonokai.blogspot.jp/
目的	船上講座を通して手賀沼の今と昔及び外来水生植物の影響を知ることによって環境保全により関心を持っていただく。
日時	2023 年 10 月 26 日 (木) 9:30～12:30
プログラム・概要・ルート等	9:30 我孫子駅改札口に集合 - 徒歩 - 9:50 湖上園着 10:00 遊覧船(湖上園ひかり 2 号)にて出航 船上講座(講師: 前流山市立博物館友の会会長 竹島 盤氏) 11:00 湖上園で下船 - 徒歩 - 11:15 杉村楚人冠記念館着 学芸員による見学 12:30 楚人冠記念館にて解散
参加対象	流山市民
参加人数	一般参加 24 名(大人 24 名) スタッフ 3 名(会員 2 名、講師 1 名)
   本船に乗り込む参加者 熱く語る竹島講師 手賀大橋下に浮遊するナガエ	
   楚人冠記念館へ徒歩で向う 楚人冠について語る武藤学芸員 「澤の家」の説明を聴く参加者	
参加者や実施団体の感想	参加者 24 名の内、18 名からアンケートをいただきその一部を紹介します。 船上から手賀沼の美しさを再認識しました。解説が分かり易く、天気にも恵まれ心地良い時間を過ごしました。・丁寧なご説明、資料有難うございました。外来植物のことも気になります。・外来植物、手賀沼の成り立ちなどについて良く理解できる講座でした。・手賀沼の今昔が良く分りました。感謝いたします。・手賀沼の植物話には興味を惹かれた。凶害雑草のナガエやオオバナのことは聞いていた以上に怖い生物である。ジャーナリストの楚人冠の人物についても新たに興味が湧き、もう少し調べてみたいと思う。・楚人冠を初めて知りました。・お話とパンフレットの内容が一致していて、後でまた復習できるようになっていて良かったです。・船上がとても楽しかった。など

企画名	手賀沼自由研究！～手賀沼水質調査体験と船上見学会～
実施団体	団体名 NPO 法人せつけんの街松戸 問合せ先 川野 美津子 TEL:090-3477-4523
目的	・松戸市内の手賀沼に流入する地域を中心とした排水や河川の状況を知ってもらう。 ・手賀沼船上見学を通して生き物などに関心を持つ人を広げる。
日時	2023 年 7 月 29 日（土） 10:00～16:40
プログラム・概要・ルート等	10:00 松戸市役所議会棟地下 1 階ロビー集合 ・出発（バス移動） 11:10～12:05 大津川流域各所で河川見学及び水質検査 （鎌ヶ谷西高校脇水路、鎌ヶ谷市北部公民館） （試料採取⇒気温、水温、透視度、COD） 13:20～14:00 手賀沼親水広場水の館 3 階研修室にて講義及び実習 （COD のパックテスト実施、ジュースの負荷について） 14:30～15:30 遊覧船乗船 （生物の観察、手賀沼中央で試料採取⇒気温、水温、透視度、COD） 15:40～16:00 イベント総括（バス移動中：生活について） 16:40 松戸市役所着、順次解散
参加対象	松戸市民（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加 19 名（大人 9 名、小学 8 名、中学 2 名） 会員スタッフ 5 名（会員 5 名）
   ・大津川流域での河川見学及び水質調査風景 ・研修室での講義及び実習風景    ・研修室での講義及び実習風景 ・遊覧船乗船風景と水質調査風景	
参加者や実施団体の感想	参加者アンケートより ・遊覧船上での時間がぜいたくでした。とても良かったです。 ・いろんな生き物が見れておもしろかったです。あと実験もおもしろかったです。 ・とても勉強になり楽しかったです。

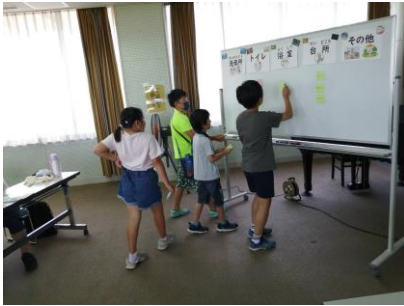
企画名	大津川の水辺を知ろう
実施団体	団体名 鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 問合せ先 代表 井上 毅 TEL:080-6520-3118
目的	大津川周辺の植物を講義や観察を通して学び、野草を使った遊びを体験する
日時	2023 年 10 月 22 日（日）9:30～12:00
プログラム・概要・ルート等	9:00 スタッフ集合（北部公民館視聴覚室） 9:30 参加者集合 主催者挨拶 講師紹介 講師 横田耕明氏（鎌ヶ谷市ビオトープ利活用推進指導員） 9:40 講座開始 (1) ビオトープについて (2) 大津川周辺の植物（在来種・外来種）について (3) ホタルの生育環境について 10:30 緑道ウッドデッキへ移動 (1) 大津川の変遷・流域等の説明、パネル展示 (2) 野草を使った遊び体験（葉っぱ飛ばし・弓矢づくり・的当て等） (3) 熊手竹竿を使った清掃体験 12:00 終了
参加対象	市民（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加 14 名（大人 7 名、幼児 1 名、小学生 6 名） 会員スタッフ 16 名（会員 13 名、講師 1 名、市職員 2 名）
 講師の説明に興味津々  大津川についてパネルで学習  葉っぱ飛ばし 対岸まで届くかな  狙いをつけて！  ひつつき虫での的当て競争  全員で記念撮影	
参加者や実施団体の感想	天気に恵まれ、事故等なく予定どおりに開催できた。 参加者からは、「いつも散歩で通る場所だが、知らない事をたくさん学べた」、「草遊びが楽しかった」といった感想が寄せられた。

企画名	栗野地区公園開園 10 周年 竹を伐採し竹炭・華炭を焼こう
実施団体	団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 達雄 TEL: 090-6309-4379 Email: tatutojun@ozzio.jp
目的	森を侵食する竹を間伐し、松ぼっくりや木の実とともに蒸し焼きにして炭をつくる。出来上がった炭はかごに飾って持ち帰り、森林保全活動の大切さを伝える。
日時	2024 年 2 月 24 日（土）10:00～14:45
プログラム・概要・ルート等	9 : 3 0 スタッフ集合 栗野地区公園中央口付近の原っぱ 1 0 : 0 0 参加者集合 名簿確認 昼食代徴収（1 0 0 円） 主催者挨拶 栗野の森の説明 班分け（5 班） 作り方の説明の後、各班参加者 6 名にスタッフ 2 名が付き開始。一斗缶 2 缶に新聞紙等で燃料の落ち枝に火をおこし、その上に炭材を入れた菓子缶を乗せ、蒸し焼きにする。 1 1 : 4 5 出来上がった炭をかごに飾る。 昼食（会のスタッフが準備した豚汁、市販のおにぎり） 1 2 : 4 5 希望者別に森の散策、竹細工（物入れ・花差し等）を行う 1 4 : 4 5 終了。各自かごに飾った炭を持ち帰る。 炭材 マダケ・ハス・モミジバフウ・ストロブマツ・テーダマツ 燃料 マダケ・シラカシ・スギ・コナラなど
参加対象	鎌ヶ谷市民（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加者 3 0 名（大人 2 7 名、小学生 2 名、幼児 1 名） 会員スタッフ 1 5 名 市環境課職員 2 名
     	
参加者や実施団体の感想	数日前から悪天候が続き開催が心配されたが、当日は晴れて予定どおりのスケジュールで無事に開催できた。 参加者は比較的高齢の方が多かったが、「炭づくりについて学べた」「栗野の森を知ることができた」といった声が聞かれた。

企画名	下手賀沼の水辺（金山落）親子生きもの観察会		
実施団体	団体名 NPO 法人しろい環境塾 問合せ先 NPO 法人しろい環境塾 担当者名 興津 功 TEL:047(404)3298 Email: shiroikankyojuku@kce.biglobe.ne.jp ホームページ: http://www.kankyojuku.jp/		
目的	下手賀沼（金山落）側水路に住む魚などの生きものを採取し、観察する。		
日時・場所	2023 年 6 月 24 日（土）8:30～12:00		
プログラム・概要・ルート等	8：30 集合 平塚旧平塚分校 9：00 開会式 主催者挨拶 講師紹介 9：30 バス乗車 今井・金山落側水路へ移動 10：00 観察・調査 水田側水路の魚などの生きものの採取と観察 11：00 千葉県環境財団 須藤雅彦講師の水辺の生きものの説明 11：30 バス乗車 旧平塚分校へ移動 12：00 閉会式 活動の振り返りとアンケート記入 12：20 解散		
募集対象	市民親子		
募集人数	一般参加 26 名（大人 11 名、幼児 3 名、小学 12 名） 会員スタッフ 20 名（会員 19 名、講師 1 名）		
   水路には胴長を履いて 安全はスタッフが見守ります 捕まえた魚は親がバケツで    どんな生きものを捕まえた？ 魚の見分け方は須藤先生が説明 下手賀沼の谷津の役割は…			
参加者や実施団体の感想	ドジョウもザリガニも初めてさわりました。本当に楽しかった。（幼稚園） 今年生まれて 6 月でこんなに大きくなるなんておどろいた。（小 1） ふだんは見ない魚がいっぱいとれて楽しかった。来年もまた来たい。（小 3） たくさんのスタッフの先生方にサポートして頂き安全に参加できました。熱中症対策にも配慮されて安心でした。ありがとうございました。（親 40 代）		

企画名	金山落（今井の桜並木）生き物観察会 ～みてみよう！ふれてみよう！川と沼の中のいのちのにぎわい～																																											
実施団体	団体名 今井の桜保全プロジェクト 問合せ先　白井市白井コミュニティセンター　山崎　雅由 TEL：　047-491-1505　　　　　　　　　E-mail：　mail@shiroi-com10.com																																											
目的	市内を流れる金山落今井地区の生き物を採捕観察し、小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらうとともに、今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらう																																											
日時	2023 年 9 月 24 日（土）9:00～11:15																																											
プログラム・概要・ルート等	9:00　開会　講師紹介　柴田佳秀さん（科学ジャーナリスト） 9:20　金山落　今井 3 号橋周辺にかご網を仕掛ける。 9:30　用水路でガサガサを行う。タモ網を使って水生生物を捕り、バケツに入れる。 9:50　採捕した獲物を講師に聞いて、各自で種類ごとの水槽に移し、「生きものしらべ報告書」に記録する。 10:10　続いてかご網を引き揚げ、同様に記録する。 11:15　終了、解散																																											
参加対象	小学生の親子 10 家族																																											
参加人数	一般参加　10 家族（大人 15 名、子ども 15 名） 会員スタッフ 7 名（白井コミュニティセンター3 名、白井こどもエコ 1 名、白井市環境課 1 名、講師 1 名、手賀沼流域フォーラム事務局 1 名）																																											
 金山落にかご網を仕掛けます    ヌマガエル  ドジョウ　ブルーギル  生きもの観察  全員集合 <table><tr><th>つかまえた生きもの</th><th>数量</th><th>つかまえた生きもの</th><th>数量</th><th>つかまえた生きもの</th><th>数量</th><th>つかまえた生きもの</th><th>数量</th></tr><tr><td>ギンブナ</td><td>7</td><td>ドジョウ</td><td>32</td><td>ヨシノボリ</td><td>2</td><td>アメリカザリガニ</td><td>14</td></tr><tr><td>タイリクバラタナゴ</td><td>2</td><td>スジエビ</td><td>39</td><td>ヌマチチブ</td><td>4</td><td>ニホンアマガエル</td><td>1</td></tr><tr><td>モツゴ(クチボソ)</td><td>17</td><td>テナガエビ</td><td>1</td><td>カダヤシ</td><td>8</td><td>ヌマガエル</td><td>4</td></tr><tr><td>タモロコ</td><td>4</td><td>シナヌマエビ</td><td>10</td><td>ブルーギル</td><td>2</td><td>ヒメタニシ</td><td>1</td></tr></table> 見つかった種類　16 種⇒					つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量	ギンブナ	7	ドジョウ	32	ヨシノボリ	2	アメリカザリガニ	14	タイリクバラタナゴ	2	スジエビ	39	ヌマチチブ	4	ニホンアマガエル	1	モツゴ(クチボソ)	17	テナガエビ	1	カダヤシ	8	ヌマガエル	4	タモロコ	4	シナヌマエビ	10	ブルーギル	2	ヒメタニシ	1
つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量	つかまえた生きもの	数量																																					
ギンブナ	7	ドジョウ	32	ヨシノボリ	2	アメリカザリガニ	14																																					
タイリクバラタナゴ	2	スジエビ	39	ヌマチチブ	4	ニホンアマガエル	1																																					
モツゴ(クチボソ)	17	テナガエビ	1	カダヤシ	8	ヌマガエル	4																																					
タモロコ	4	シナヌマエビ	10	ブルーギル	2	ヒメタニシ	1																																					
参加者や実施団体の感想	(参加者アンケートより) ◆親子ともにとても楽しかったです！！ありがとうございました。◆いろいろな種類の生物がいると知った。◆外来生物の増えた経緯について、ありがとうございました。◆これ以上水が汚れないように気を付けていきたい。◆今井の桜並木を保全してほしい。◆白井市民として、この桜の風景を今後も守れるよう掃除等ボランティアに参加したいと思った。◆また楽しい企画を期待しています。																																											

企画名	下手賀沼流域の間伐竹を使って鳥の巣箱をつくろう		
実施団体	団体名 白井環境フォーラム実行委員会 問合せ先 白井環境フォーラム実行委員会事務局 TEL: 047-401-5409 Email:kankyou@city.shiroi.chiba.jp		
目的	下手賀沼流域の放置された竹林の間伐竹を使い鳥の巣箱づくりのワークショップを小学生の親子を対象に開催し、鳥の巣作りの様子を観察するとともに、手賀沼流域の水環境の改善や自然環境の大切さについて学ぶきっかけとする。		
日時	2023 年 11 月 25 日（土）13:20～15:00		
プログラム・概要・ルート等	○講師 河邊久男氏（千葉県野鳥の会） ① 事前講習 7 月 19 日（水） ワークショップ当日の参加者の作業の補助を行えるよう環境フォーラム実行委員を対象に巣箱の構造や巣箱づくりの手順を講師の指導のもと学ぶ。 ② ワークショップ 「下手賀沼流域の間伐竹を使って鳥の巣箱をつくろう」 下手賀沼流域の放置された竹林の間伐竹を使って小学生親子で巣箱づくりを行い、自宅に設置して鳥の巣作りの様子を観察するとともに、材料の採取場所の竹林の状況や手賀沼の水環境改善のために森林等の手入れの必要性等についての説明や資料により啓発を行った。		
参加対象	小学生親子 15 組		
参加人数	一般参加：小学生親子 13 組 28 名（大人 14 名、幼児 1 名、小学生 13 名） スタッフ：14 名（実行委員 9 名、講師 1 名、手賀沼流域フォーラム事務局 1 名、インターンシップ 1 名、事務局 2 名）		
支柱の加工親子で作業  支柱の面取り  巣箱の加工支柱用穴あけ 			
巣穴あけ  巣箱の絵付け  完成した巣箱を持つ参加者 			
参加者や実施団体の感想	自然の物を使った巣箱が簡単な作り方で作れた。子どもと楽しんでできた。巣箱に鳥が来るのが楽しみ。のこぎりを使って竹を切るのが楽しかった。子どもが積極的に工具を使おうと意欲を示し楽しく完成した。子どもの良い経験になった。のこぎり竹を切る体験が初めてでとても楽しかった。		

企画名	手賀沼船上親子観察会
実施団体	団体名 印西 水と暮らしを守る会 問合せ先 竹内順子 TEL : 090-3907-8355 Email : inzaimizukura@yahoo.co.jp
目的	手賀沼流域の川を船でめぐり、豊かな生態系にふれる。また、中央公民館で私たちの飲み水はどこから来て、どこへ流れて行くのか、また手賀沼と流域に繁茂している外来水生植物がどのような問題を及ぼしているかを学ぶ。
日時	2023 年 7 月 30 日（日）10:00～12:00
プログラム・概要・ルート等	※印西市立中央公民館共催事業、協力 NPO 法人いんざい水の郷ネットワーク 集合 印西市中央公民館 1 階 ロビー 9:50 開会 挨拶、スケジュール、注意事項説明 10:00 2 班に分かれて活動 A 班：①⇒② B 班：②⇒① ①六軒川、弁天川、手賀川を船で巡る自然観察（担当 NPO 法人いんざい水の郷ネットワーク） ②公民館視聴覚室での手賀沼周辺の環境学習（担当 印西 水と暮らしを守る会） ・「私たちの飲み水、捨て水」を学ぶ。 ・ワークショップ「水を汚す原因は？」「家庭のどこから汚れた水を出しているか？」 ・「手賀沼と流域の外来水生植物」について学ぶ。
参加対象	市内在住の小学生とその保護者
参加人数	一般 32 名（大人 16 名、小学生 16 名）、スタッフ（会員 3 名、中央公民館 1 名）
 2 隻の屋形船に乗り込む  弁天川→手賀川→下手賀川の川めぐり  お皿の汚れそのまま洗い流すと？	
 家庭のどこからどんな汚れを出しているかな？汚さないようにするには？   外来水草が手賀沼と流域に繁茂しているよ	
参加者や実施団体の感想	（参加者アンケートより）◆水の大切さや大雨などの対策がわかりとても有意義な時間を過ごすことができました。今後水のために私たちにできることをやっていこうと思います。◆貴重な体験をありがとうございました。水草のことなど知ることができて良かったです。小学校低学年でも参加できるのであれば、駆除活動にも参加してみたいです。◆乗船してみると、意外に川がキレイだと思った。鳥や古い町並みも見られてたのしかった。◆時間的にもう少し早く始めて、11 時半くらいに終わりだとありがたい。